MITSUBISHI

三菱浴室用換気扇（同時吸排式）

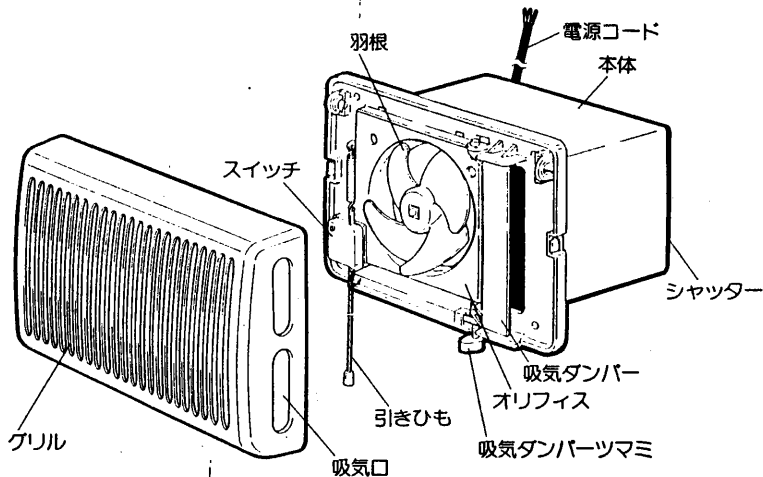
形　名

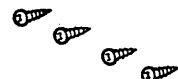
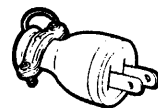
V-13BS3

取付・取扱説明書

このたびは三菱浴室用換気扇をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取付・取扱説明書をよくお読みください。

なお、この説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役にたちます。
取付工事はお買い求めの販売店さま、または専門の工事店さまに依頼してください。

1. 各部の名称

付属部品

木ネジ（４本）

電源プラグ（１個）

2. システム部材

形名など詳細についてはカタログを参照してください。

■ウエザーカバー

■防火ダンパー付ウエザーカバー

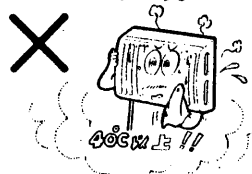
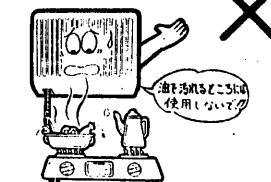
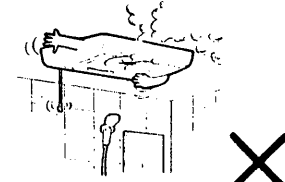
■木　枠

■欄間取付けパネル

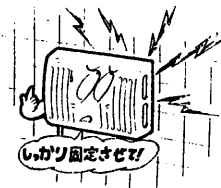
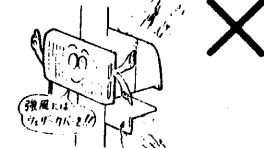
3. 必ずお守りください

取付場所

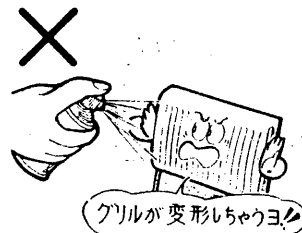
この換気扇は浴室の天井に近い壁面に取付けてください。

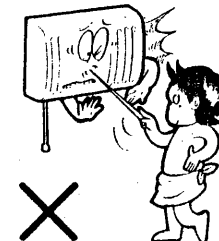
■換気扇を取付けた付近の温度が40℃以上になる場所に取付けないでください。
製品の変形やモーター焼損の原因にもなります。

■台所など油煙のかかる場所には取付けないでください。
グリル・羽根などの破損の原因になります。

■天井面には取付けないでください。
グリルの落下、モーターの故障の原因となります。

■グリルから結露水が滴下することがありますので取付け位置には注意してください。

取付時

■取付けが不十分ですと振動したり異常音を発生します。取付方法に従ってしっかり取付けてください。

■風雨の強いところへ取付ける場合は、システム部材のウエザーカバーを取付けてください。
また、下側から吹き上げがある場合は、吹き上げしゃへい板（お客さま手配）を取付けてください。

■取付壁面がステンレスなどの金属板張りがしてある場合は、電気設備技術基準（電技182）に従って金属壁面と換気扇とが接触しないよう必ず絶縁物をはさんでください。

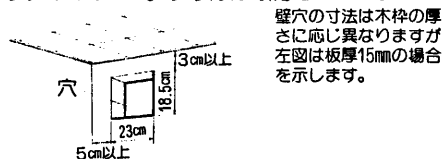
使用時

■スプレー（殺虫剤、整髪用、掃除用など）をかけないでください。
グリル・羽根などが破損、変質する原因になります。

■浴室保護のため、使用中及び使用後、浴室が乾燥するまで（約３時間）換気扇を運転してください。なお、使用後は湯を落とすか、湯気が発散しないように必ず「ふた」をしてください。
浴室や換気扇のいたみが少なくなります。

■羽根が回転中は、グリル内部に指や物を入れないでください。けがをします。

4. 壁穴工事

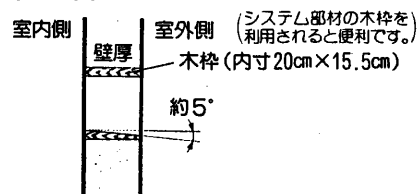
壁穴工事は専門の工事店さまが実施してください。

(1)壁穴をあけます。

■壁穴は天井や左右の壁から下図のように離してあけてください。グリルが取付きません。

壁穴の寸法は木枠の厚さに応じ異なりますが左図は板厚15mmの場合を示します。

(2)板厚15mm以上の板で木枠を作ります。

■木枠の下部(室外側)に傾斜をつけて雨水の浸入を防ぎます。

（システム部材の木枠を利用されると便利です。）

5. 電気工事

●専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

電源コンセントを屋外に設ける場合

●本体より出ている電源コードと付属の電源プラグを接続します。
●アース工事をします。
●電源プラグをコンセントに差込みます。

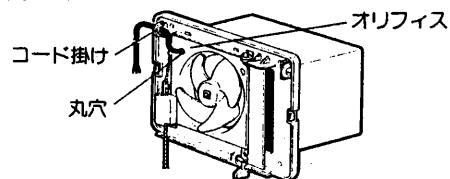
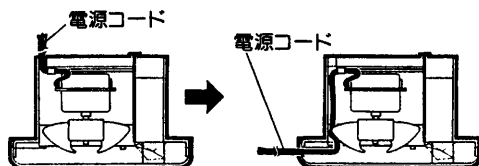
ご注意

●コンセント取付用ボックス(市販品)はJIS C8336に規定の製品をご使用ください。

屋内から電源を取る場合

コード掛け
丸穴
オリフィス

(1)背面から出ている電源コードを出口部分より外して、オリフィス上部の丸穴から取出し、本体のコード掛けに通します。
※この時、コードが羽根・シャッターに当たらないように注意してください。

(2)グリル側面の薄肉部をナイフで切欠きます。(左右どちらかのコード取出し位置を選定してください。)

アース工事

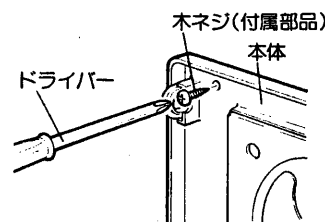
●湿気の多いところで使用する換気扇ですから必ずアース線を使用して、内線規程に基づき第3種接地工事を行ってください。
接地線は地中に埋めるなど確実な方法で実施してください。

6. 本体の取付け

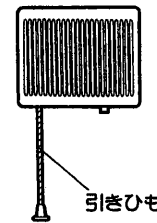
1. グリルを外して本体の4ヵ所の穴を利用して付属の木ネジ(4本)で固定します。

ドライバー
木ネジ(付属部品)
本体

ご注意

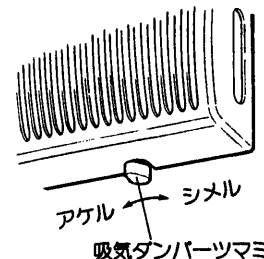
●木ネジの締付けが悪いと、騒音・振動の原因となります。
●木枠に本体を取付けるとき、木ネジの頭をハンマーなどで打たないでください。
●雨水、風などが当たりやすいところに取付けた場合は、木枠と本体のすき間をコーキングしてください。

2. グリルを本体に取付けます。

7. 使用方法

換気する場合	停止状態で引きひもを引きます。 スイッチが入って羽根が回転すると同時にシャッターが開き換気を始めます。	
止める場合	もう一度引きひもを引きます。 スイッチが切れ、シャッターが閉じると同時に羽根の回転が停止します。	引きひも

■吸気ダンパーについて

この製品には吸気ダンパーが付いております。冬期において冷気侵入が気になる場合、吸気ダンパーツマミを「シマル」の方向に回してください。吸気ダンパーが閉まり冷気侵入を防止します。冬期以外のご使用時はダンパーツマミを「アケル」の位置でご使用ください。

ご注意

●湯気を排出するときに羽根から水滴が飛び散って周囲に当たる音が聞こえる場合があります。異常ではありませんのでそのままご使用ください。

8. お手入れのしかた

換気扇が汚れてきましたら約3ヵ月に1度を目安として、次の順序で清掃してください。

ご注意

●必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

各部品の取外しかた

■グリル

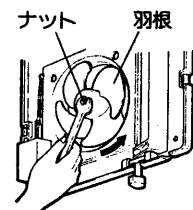
●グリルは、両側を持って手前に引っ張りますと外れます。

グリル

■羽根

●羽根は、ナットをスパナなどで右へ回して外せば外れます。

ご注意

●外したナット・ワッシャーはなくさないよう保管してください。組立てるとき必要です。

8. お手入れのしかた つづき

換気扇の清掃

■グリル・羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてから、きれいな水で洗いよく乾かしてください。
■本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

ご注意

●モーターなどの電気部品は、水にぬらさないでください。絶縁不良となり、漏電などの原因となります。

●お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなど使用しないでください。色があせたり、つやがなくなります。

●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

●市販のアルカリ洗剤などは、塗装をはがすものもありますので使用しないでください。(洗剤をご使用になる前には、必ず洗剤の注意書をよくお確かめください。)

お手入れ後の組立てと点検

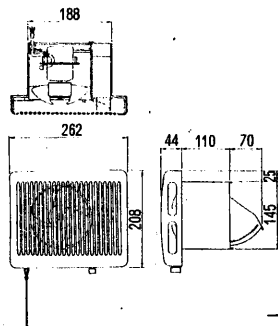
お手入れが終わりましたら、取外しと逆の順序で組立ててください。

次の点検をしながら組立てをしてください。

1. 電源コードに傷はありませんか。
2. 本体・羽根・グリルが確実に取付けられていますか。
3. 電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認してください。
4. シャッターの開閉がスムーズにできますか。

9. 仕　様

外形寸法図

〈単位mm〉

仕　様

形　名	電源(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(㎥/h)	騒音(ホン)	重量(kg)
V-13BS3	100	50	4.2	115	27	1.2
		60	4.3	125	28	

10. 換気扇の診断のお願い

長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。
3カ月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。工事店さまで実施する事項が発生した場合、事故防止のため電源プラグを抜いてお買い求めの販売店さま、または工事店さまに点検修理をご依頼ください。(有料)

診　断	点　検　と　処　置	点検実施者
引きひもを引いても羽根が回転しない。	電源プラグが差込まれていますか。(差込みます。)	お客さま
	上記の処置をしても回らない場合	工事店さま
運転中に異常音や振動がする。	羽根がゆるんでいませんか。(引きひもを引き「切」にして締付け直します。) 本体・グリルが確実に取付けられていますか。(引きひもを引き「切」にして取付け直します。)	お客さま
	上記の処置をしても直らない場合	工事店さま
回転が遅い。 または不規則。	運転停止	工事店さま
こげ臭いにおいがする。	運転停止	工事店さま

11. アフターサービス

三菱浴室用換気扇のアフターサービスは、お買い求めの販売店さまへお申しつけください。
また、おわかりにならないときは、当社のご相談窓口(取付・取扱説明書同封一覧表の最寄りの三菱電機お客さま相談センター)にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客さまへ

形　名	V-13BS3	家電品 愛情点検 明るいくらし
お買い上げ年月日	年　月　日	
お買い上げ店名 (住　所) (電話番号)	(　　)	

〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

9201A⊕R
588H60778